

# 平成 26 年度 新潟農業・バイオ専門学校 学校関係者評価委員会 実施報告

新潟農業・バイオ専門学校 教務部

日時 平成 26 年 12 月 20 日 (土) 17:00-18:00

場所 ホテルイタリア軒 会議室 弥彦

学校関係者評価委員会 出席者

森岡 三男 弁天橋自治会 会長 (近隣住民)  
後藤 孝之 株式会社 日本フードリンク 代表取締役社長 (関連企業)  
渡辺 弘友 新潟県立植物園 副参事 (関連団体)  
岡村 遥香 株式会社 フレッシュはな正 (卒業生)  
阿部 莉奈 アルバイト (卒業生)  
西村 静子 在学生保護者  
業務都合により欠席  
米野 輝太 新潟ビール醸造株式会社 (卒業生)

新潟農業・バイオ専門学校 (参加者)

新美 芳二 校長  
阿部 貴美 副校長  
秋山 正之 教務部長/就職部長  
多賀 祥治 事務局長

## ■委員会内容

- ① 平成 25 年度教務・学校運営実績報告、学校関係者評価/平成 26 年度前期教務・学校運営実績報告
- ② 平成 25 年度実施の保護者アンケートならびに事前アンケートの記載内容に関する報告
- ③ 報告を受けての意見交換

## ■学校関係者評価委員会委員からの意見

・学校運営：農業経営科の実習運営が外部とのかかわりの中で特徴的なものとなっている。また、バイオ科の資格取得に苦戦している点は懸念事項である。園芸デザイン科による県立植物園への活用を継続してほしい。

・教育活動：食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した活動は継続されている。

基礎学力の不足が目立つよう感じる。そのような学生に対する指導体制の確立が必要ではないか。  
→基礎学力が不足している学生に対する対応として、① I T C を使った入学前教育の実施 (平成 25 年度入学生より継続実施)、② 学科ごとに対象者を限定した補講の実施を計画している。

・学生支援：昨年指摘された課題である、学生の進路・就職支援の求人情報の不足はまだ解消しがたいのではないかと。学内通信発行によって、保護者への情報提供の回数が増えたことは歓迎。

→この要望に関して、引き続き就職支援の情報提供の充実を図っていくと回答。また、学内通信が学生間でも浸透するよう対応していくことも提示した。

・教育環境：教室、実習設備、実習場といった教育環境の整備は改善されている。実習地の確保も十分であると考えます。

・社会貢献・地域貢献：新潟市、新潟県、近隣小学校、地域の N P O 法人などとの連携が図られている。A B i o 祭の実施など、近隣住民との交流を積極的に努めている点は評価できる。新潟の地域活性のために若者の教育に努めてほしい。今後の学校の発展を期待したい。

以上